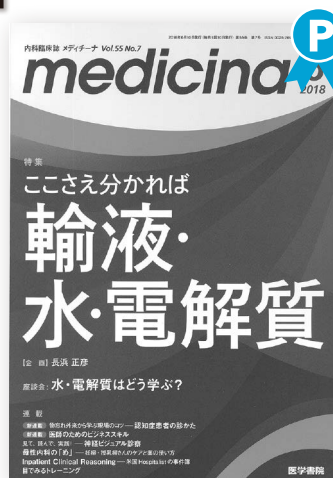


今月の特集関連本

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート (p.1561) に
ご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。



『medicina』2018年6月号 (55巻7号) ここさえ分かれば 輸液・水・電解質

本体 2,600 円 + 税 / B5 判 / 医学書院 / 2018

「水・電解質は、理解しにくい。とっつきにくい」と感じている学生・研修医、そして実地医家のために、輸液・水・電解質の「ここさえ分かれば」を集めた『medicina』誌の特集号。理解のきっかけになるであろう疾患概念や病態生理に焦点を絞り、前半で「ここさえ分かれば」を集め、後半では特殊な状況 (各論)、専門家でも読み応えのある controversy にも挑んでもらう構成となっている。飛躍的に理解が深まり、苦手意識が氷解する 1 冊。

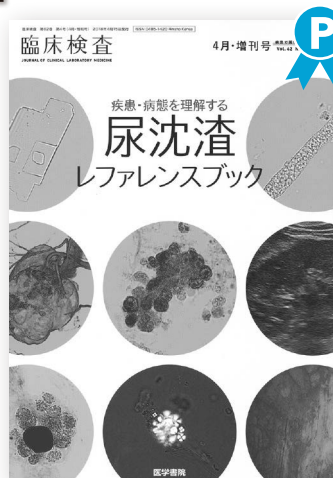


『臨床泌尿器科』2018年7月号 (72巻8号) 必読! 尿失禁マネジメントの極意

本体 2,800 円 + 税 / B5 判 / 医学書院 / 2018

医学書院には、実に 32 種の雑誌があります。もちろん、「おしっこ」関連の企画もあり、今回は 2 誌ご紹介いたします。

尿のトラブルは、高齢者の多くが自覚している切実な問題である。なかでも尿失禁は、外出控えにもつながったり、介護予防の観点からも重要だ。それだけに、プライマリ・ケア医が地域の多職種チームとともに、尿失禁マネジメントを行うニーズは高い。本特集では、「尿失禁の種類と標準的治療」「尿失禁に対する非薬物療法」「尿失禁マネジメントの現状と課題」の 3 項に分け、排尿自立指導料から地域包括ケアとの関連、そして具体的ケアについては、看護師の視点からの尿失禁マネジメントと、幅広くとらえる。



『臨床検査』2018年4月増刊号 (62巻4号) 疾患・病態を理解する 尿沈渣レファレンスブック

本体 5,000 円 + 税 / B5 判 / 医学書院 / 2018

尿沈渣と病態の関連性を知ることと、顕微鏡検査のレベルアップを目的として、尿沈渣に関連する検査、処置・手術、疾患の基礎的な知識をチャートや写真を添えて集大成した増刊号。「Ⅴ 腎疾患」「Ⅵ 泌尿器疾患」の項では、一般外来でも遭遇する症候群や疾患を取り上げ、必要な検査から処置、治療までをトータルに詳述する。基本的には臨床検査部門のスタッフを読者対象とするが、本特集は一般内科のドクターにも有用な参考書となる。